



根 室 市 立 学 校
適 正 配 置 計 画

(案)



根室市教育委員会

根室市立学校適正配置計画

目 次

はじめに	……P1
第1章 適正配置計画の基本的な考え方	……P1
1 適正配置計画の目的	……P1
2 根室市立学校の現状と課題	……P1
3 将来的な方向性	……P3
第2章 適正配置計画の進め方	
1 各CS(コミュニティ・スクール=学校運営協議会)地区の学校のあり方	……P6
(1) 柏陵校区【北斗小学校・柏陵中学校】	……P6
(2) 光洋校区【花咲港小学校・花咲小学校・成央小学校・光洋中学校】	……P7
(3) 海星校区【海星学校】	……P9
(4) 落石校区【おちいし義務教育学校】	……P10
(5) 厚床校区【厚床小中学校】	……P11
(6) 齒舞校区【齒舞学園】	……P12
2 市民周知及び意見の反映について	……P12

はじめに

人口減少・少子高齢化の進行や産業構造の変化、ICT やグローバル化の進展などにより、人々の価値観や生活様式が大きく変わり、将来の予測が困難な時代になっています。このような変化の激しい時代にあって、子どもたちが未来に向かって様々な困難を乗り越え、豊かな人生を切り拓いていくためには、自らの良さや可能性を認め、地域など多様な人々と連携・協働しながら、学び・成長していくことが大切です。

根室市教育委員会では、当市の地理的条件や地域ごとの特色・学校現場の状況等を踏まえ、将来の人づくり・まちづくりにつながる学校教育環境の向上を目指し、「根室市立学校適正配置計画」を策定します。

第1章 適正配置計画の基本的な考え方**1 適正配置計画の目的**

本計画は、当市を取り巻く社会情勢を踏まえ、国の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」「根室市総合計画」「根室市公共施設グランドデザイン構想」等との整合性を図るとともに、平成29年に策定した「根室市における小中一貫教育推進基本方針」との一体化を図り、当市における小中一貫教育推進の方向性も含め、根室市立学校の学校規模の適正化及び少子化に対応した活力ある学校づくりを目指すことを目的として策定するものです。

本適正配置計画の期間は、令和6年度から令和10年度までの5年間とします。

2 根室市立学校の現状と課題

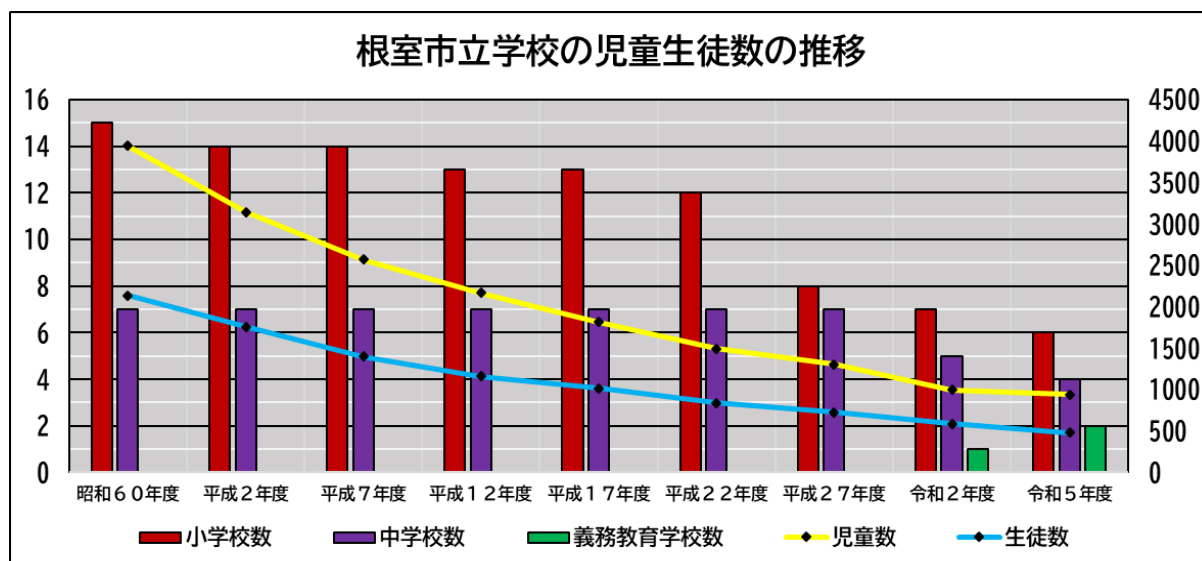
○児童生徒数及び学校数の推移

昭和30年度以降の根室市の児童生徒数は、昭和37年度の8,804人をピークに、その後は徐々に減少を続け、令和5年度は1,421人とピーク時の約16%にまで減少しています。

また、小中学校数は、昭和36年度の28校をピークに、その後は減少が進み、令和2年度に光洋中学校と啓雲中学校を統合、令和5年度現在は小学校6校、中学校4校、義務教育学校2校となっています。

項目 \ 年度	昭和60	平成2	平成7	平成12	平成17	平成22	平成27	令和2	令和5
小学校数	15	14	14	13	13	12	8	7	6
中学校数	7	7	7	7	7	7	7	5	4
義務教育学校数	0	0	0	0	0	0	0	1	2
学校数合計	22	21	21	20	20	19	15	13	12
児童数	3,942	3,143	2,567	2,166	1,811	1,496	1,305	994	940
生徒数	2,135	1,755	1,399	1,162	1,016	841	724	584	481
児童・生徒数合計	6,077	4,898	3,966	3,328	2,827	2,337	2,029	1,578	1,421

図-1 (令和5年5月1日現在)



○学校施設の老朽化の状況

令和5年度現在、市立学校の校舎・体育館総面積のうち建築後50年以上経過している施設が約5割を占めており、特に市街地地区の北斗小学校・成央小学校・光洋中学校は大規模な改修の検討が必要となっています。

1 根室市立学校建物の経年別保有面積(校舎・体育館の計)

【令和5年4月1日現在】

区分	全ての市立学校		市街地の市立学校	
	面積【㎡】	割合【%】	面積【㎡】	割合【%】
55年～59年	19,716	37.9	19,716	59.3
50年～54年	6,084	11.7	309	0.9
45年～49年	6,929	13.3	5,052	15.2
40年～44年	4,098	7.9	0	0.0
35年～39年	8,133	15.6	8,133	24.6
30年～34年	0	0	0	0
25年～29年	0	0	0	0
20年～24年	0	0	0	0
15年～19年	2,050	4.0	0	0
10年～14年	2,054	4.0	0	0
5年～9年	2,921	5.6	0	0
0年～4年	0	0	0	0
計	51,985	-	33,210	-

※1 校舎と別棟の物置等の面積を除く。

○根室市立学校の課題

(1) 市街地校の課題【北斗小学校・花咲小学校・成央小学校・光洋中学校・柏陵中学校】

北斗小学校・成央小学校・光洋中学校校舎については、いずれも築50年以上が経過しており、老朽化対策が求められています。

市街地校については、児童生徒数や学級数によって、学年内や学年間で、児童生徒相互の交流や理解が不十分となり、全校的に好ましい人間関係や信頼関係を形成しづらい面があります。

特に、中学校では、生活や進路などに関する生徒指導の面で個々の生徒の状況に応じた対応において、十分に目が行き届きづらくなることが懸念されます。

(2) 郡部校の課題【花咲港小学校・おちいし義務教育学校・海星学校・歯舞学園・厚床小中学校】

厚床中学校校舎については、築50年が経過しており、老朽化対策が求められています。

郡部校においては、児童生徒数や学級数が少なく、クラス替えができないこと等から、社会性を涵養する機会や多様な意見に触れる機会の確保が課題となっています。

また、これらの学校は地域コミュニティの中核的な役割を果たす重要な施設として地域住民から存続が求められています。

3 将来的な方向性

将来的な児童生徒数の減少を見据えるとともに、義務教育9年間を通して自立した児童生徒を育む小中一貫教育を促進するため、学校施設整備にあたっては小・中併置校化を検討します。

(1) 市街地校の方向性

市街地校を「西部市街地学校エリア（北斗小学校・柏陵中学校）」「東部市街地学校エリア（花咲・成央小学校・光洋中学校）」の2つに分け、校舎の老朽化対策も含め、市街地の東西に各1校ずつ、義務教育学校を配置する方向での検討を進めます。

義務教育学校化については、多様な学習集団の編成、異年齢交流機会の拡大などが可能となり、「中1ギャップへの効果的な対応」「学校の社会性育成機能の強化」などが期待できます。

(2) 郡部校の方向性

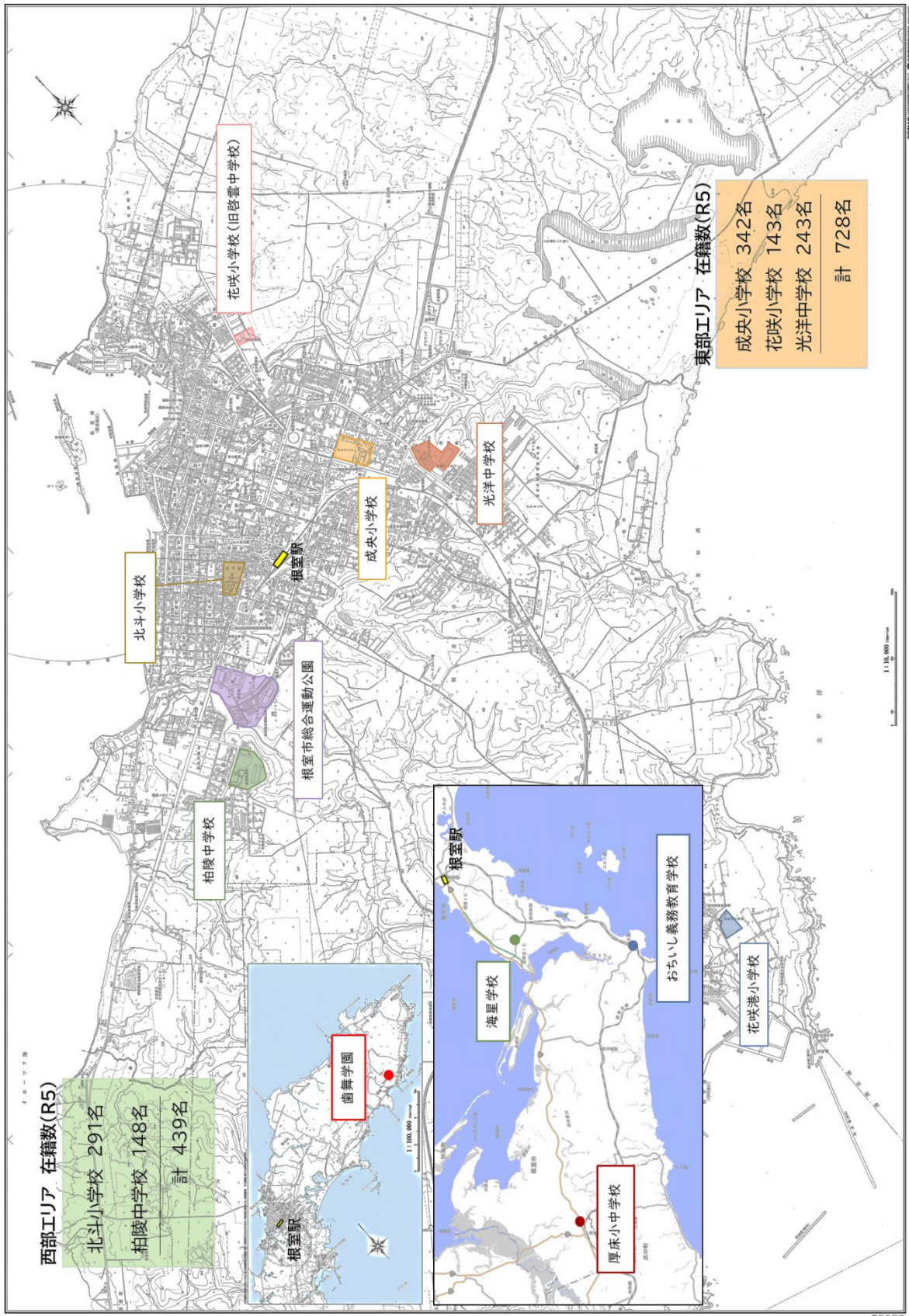
校舎の老朽化対策を進めるとともに、小規模校のデメリットを最小化し、メリットを最大化するための教育を実践するとともに、各校が「地域ともにある学校づくり」を主眼に置きそれぞれの地域の特色を生かした多様な教育活動を展開し、市内外の児童生徒、保護者が自分にとって望ましい教育環境を選択できる制度を検討しつつ、存続を目指します。

少人数を生かした指導として、「児童生徒が相互に学び合う活動の充実」「異年齢による学習の充実」「地域の教育資源を最大限に生かした学習の充実」等を展開します。

(1)(2)の推進にあたっては、保護者や地域住民の参画により、学校運営の改善に取り組む「学校運営協議会(コミュニティ・スクール)」の活動をさらに活性化させ、教職と地域の皆さんが目標や課題を共有しながら、学校の教育方針や教育活動に地域のニーズを的確かつ機動的に反映させ、それぞれの地域ならではの創意工夫を活かした特色ある学校づくりに繋がります。

教育委員会教育総務課

根室市立学校施設の現況配置



第2章 適正配置計画の進め方

1 各CS（コミュニティ・スクール＝学校運営協議会）地区の学校のあり方

（1）柏陵校区【北斗小学校・柏陵中学校】

【参考】児童生徒数の将来推計（令和5年5月1日時点における根室市教育委員会推計値）

令和5年5月1日現在		令和8年度 推計値		令和10年度 推計値		統合 予定	
児童・生徒数	学級数	児童・生徒数	学級数	児童・生徒数	学級数		
北斗 小学校	291人	12学級	232人	9学級	194人	7学級	義務教育 学校化に 向け検討
柏陵 中学校	148人	6学級	154人	6学級	149人	6学級	

※特別支援学級の学級数は含めない。

① 適正配置について

北斗小学校は、今後5年間で学級数が5学級減と大幅な児童数の減少が見込まれます。

一方、柏陵中学校については学級数の増減はありませんが、将来的な両校の児童生徒数の減少を見据え、「西部市街地学校エリア」として柏陵中学校校舎との小中併置化を目指し、令和6年度以降に校舎の移転・改築に向けた基本設計に着手、義務教育9ヵ年のカリキュラムを一貫して行う義務教育学校への移行に向け検討を進めます。

【北斗小学校・柏陵中学校校区】

梅ヶ枝町（1、2丁目）、緑町（1、2丁目）、本町（1、2丁目）、大正町、清隆町、平内町、北斗町、光和町、岬町、定基町、松本町、敷島町、花園町、月岡町、西浜町、弥生町、穂香、常盤町（1、2丁目）、宝林町（1丁目、4丁目の内399～472番地、5丁目の内58～61番地）、東和田（1～560、563～568、572～600、609～636、642～701、716～731、737～740）

② CSについて

目指す子ども像

○環境と向き合い、自分らしく生きる子ども

柏陵校区（北斗小学校・柏陵中学校）コミュニティ・スクール（学校運営協議会：学校・PTA・家庭・地域）では、「ふるさと根室を想い、行動する子どもを地域で育てる」をテーマとして、子どもたちを取り巻く環境や課題・困難に負けず、状況にしっかりと向き合い、希望を見いだしていく力を育成する教育活動を展開します。

(2) 光洋校区【花咲港小学校・花咲小学校・成央小学校・光洋中学校】

【参考】児童生徒数の将来推計（令和5年5月1日時点における根室市教育委員会推計値）

令和5年5月1日現在		令和8年度 推計値		令和10年度 推計値		統合 予定	
児童・生徒数	学級数	児童・生徒数	学級数	児童・生徒数	学級数		
花咲港 小学校	8人	2学級	8人	2学級	7人	2学級	なし
花咲 小学校	143人	6学級	130人	6学級	110人	6学級	なし
成央 小学校	342人	12学級	333人	12学級	315人	12学級	ただし 将来的 な、義 務教育 学校化 に向け 検討
光洋 中学校	243人	8学級	246人	8学級	259人	9学級	

※特別支援学級の学級数は含めない。

① 適正配置について

花咲港小学校は、当市におけるインクルーシブ教育実践校として、障がいの有無はもとより、生育環境や経験の差、学習の志向性や遅早の違いなど、あらゆる違いを互いに認め合い、協働できる資質能力を育成する教育を展開しています。

また、地域コミュニティの核として地域に親しまれている学校でもあることから、今後は、インクルーシブ教育の取組をさらに深化・継続するとともに、校区外からの児童を受け入れるための環境整備を図りながら、単独校で存続することとします。

花咲・成央小学校・光洋中学校については、いずれも今後5年間における学級数の大きな増減はないものと見込まれるため、当面はそれぞれ単独校として存続しますが、その後における各校の児童生徒数の減少を見据え、「東部市街地学校エリア」として、3校を小中併置化することにより、義務教育9カ年のカリキュラムを一貫して行う中で、子どもたちの15歳の姿・目標を見据えた学習指導や地域に根ざしたふるさと学習を展開する義務教育学校化についての検討を進めます。

【花咲港小学校校区】

花咲港（一円）

【花咲小学校校区】

琴平町、弁天町、海岸町、汐見町、千島町、北浜町、鳴海町、朝日町、栄町、月見町、有磯町、本町（3、4、5丁目）、松ヶ枝町、花咲町、駒場町、明治町、牧の内（成央小学校の区域を除く）、梅ヶ枝町（3丁目）、緑町（3丁目）、常盤町（3丁目）、弥栄町

【成央小学校校区】

幸町、宝町、光洋町、桂木、曙町、昭和町、牧の内（146番地6、14、16、18、79、275）、宝林町（2丁目、3丁目、4丁目の内1～398番地、5丁目（北斗小学校区域を除く。））

【光洋中学校校区】

幸町、宝町、曙町、宝林町（2丁目、3丁目、4丁目の内1～398番地、5丁目（柏陵中学校区域を除く。））昭和町、光洋町、牧の内、桂木、花咲港、北浜町、琴平町、海岸町、弁天町、駒場町、千島町、汐見町、栄町、月見町、有磯町、朝日町、鳴海町、本町（3、4、5丁目）、松ヶ枝町、花咲町、弥栄町、明治町、梅ヶ枝町（3丁目）、緑町（3丁目）、常盤町（3丁目）

② CSについて

目指す子ども像

○根室を愛し、夢をもつ人

○チャレンジする人

○発想力のある人

光洋校区（花咲港・花咲・成央小学校・光洋中学校）コミュニティ・スクール（学校運営協議会：学校・PTA・家庭・地域）では、「地域が期待する人材」をテーマとして、これからの社会を切り拓くために不可欠な資質を育むため、小学校と中学校がイメージを共有しながら環境づくりに努めるとともに、保護者・地域と一体となった教育活動を展開します。

(3) 海星校区【海星学校】

【参考】児童生徒数の将来推計（令和5年5月1日時点における根室市教育委員会推計値）

令和5年5月1日現在		令和8年度 推計値		令和10年度 推計値		統合 予定
児童・生徒数	学級数	児童・生徒数	学級数	児童・生徒数	学級数	
36人	6学級	20人	4学級	12人	2学級	なし

※特別支援学級の学級数は含めない

① 適正配置について

海星学校は、令和5年度に義務教育9カ年のカリキュラムを一貫して行う義務教育学校へ移行しました。

海星学校は、5年後に学級数が4つ減り2学級となる見込みですが、地域コミュニティにおいても重要な役割を果たしていること等から、今後、校区外から児童生徒を受け入れるための特色ある教育活動を展開し存続することとします。

【校区】幌茂尻・温根沼・東梅・西和田・東和田（北斗小学校・柏陵中学校区域を除く）・長節・春国岱

② CSについて

目指す子ども像

- 進んで学習し、よく考えて行動する子ども
- 新しいものを作り出す強い意志と忍耐力を持つ子ども
- 健康で明るく、仲良く助け合う子ども

海星校区コミュニティ・スクール（学校運営協議会：学校・PTA・家庭・地域）では、地域で何かを創る（生み出す）ことや、助け合う・助けることができる人を育てることが特に大切であるとの認識のもと、様々な状況を抱えた子どもたちが、自らの感性や個性、価値観を最大限に引き伸ばすことができる教育活動を展開します。

(4) 落石校区【おちいし義務教育学校】

【参考】児童生徒数の将来推計（令和5年5月1日時点における根室市教育委員会推計値）

令和5年5月1日現在		令和8年度 推計値		令和10年度 推計値		統合 予定
児童・生徒数	学級数	児童・生徒数	学級数	児童・生徒数	学級数	
45人	5学級	31人	6学級	20人	4学級	なし

※特別支援学級の学級数は含めない。

① 適正配置について

おちいし義務教育学校は、5年後に学級数が1つ減る見込みですが、地域と密着した学校であることから、現状のまま存続することとします。

おちいし義務教育学校は、令和5年度に小学校校舎・体育館の改修及び中学校校舎の移転・改築を実施、令和6年度より義務教育9カ年のカリキュラムを一貫して行う義務教育学校へ移行します。

【校区】落石西・落石東・浜松・昆布盛

② CSについて

目指す子ども像

- ふるさとに誇りを持つ子ども
- 素直で思いやりのある子ども
- 自信を持ち、あきらめない心を持つ子ども

落石校区コミュニティ・スクール（学校運営協議会：学校・PTA・家庭・地域）では、子どもたちの健やかな成長を目指し、学校・保護者・地域が共通した思いを持ちながら、「おちいし味まつり」や漁協青年部と連携し、地域に学び地域の発展に貢献できる人材の育成を目指した教育活動を展開します。

(5) 厚床校区【厚床小中学校】

【参考】児童生徒数の将来推計（令和5年5月1日時点における根室市教育委員会推計値）

令和5年5月1日現在		令和8年度 推計値		令和10年度 推計値		統合 予定
児童・生徒数	学級数	児童・生徒数	学級数	児童・生徒数	学級数	
30人	5学級	28人	5学級	27人	5学級	なし

※特別支援学級の学級数は含めない。

① 適正配置について

厚床小中学校は、今後5年間の学級数の増減が見込まれないこと等を踏まえ、現状のまま存続することとします。

厚床小中学校は、令和5年度に中学校校舎の改築に向けた基本設計に着手、令和6年度より義務教育9カ年のカリキュラムを一貫して行う義務教育学校へ移行します。

【校区】西厚床・東厚床・厚床・明郷・湖南・槍昔・川口・酪陽・初田牛・別当賀

② CSについて

目指す子どもの姿

○よく学び合う子【知】

○相手を大切にする子【徳】

○あきらめずに挑戦する子【体】

○ふるさと厚床に誇りを持つ子【郷土愛】

厚床校区コミュニティ・スクール（学校運営協議会：学校・PTA・家庭・地域）では、子どもたちの健やかな成長を目指し、学校・保護者・地域が共通した思いを持ちながら、すずらん学園と連携した学習や、郷土芸能「厚床獅子舞」など地域の文化・風土を取り入れ、地域に根ざした教育活動を展開します。

(6) 歯舞校区【歯舞学園】

【参考】児童生徒数の将来推計（令和5年5月1日時点における根室市教育委員会推計値）

令和5年5月1日現在		令和8年度 推計値		令和10年度 推計値		統合 予定
児童・生徒数	学級数	児童・生徒数	学級数	児童・生徒数	学級数	
135人	9学級	128人	9学級	115人	9学級	なし

※特別支援学級の学級数は含めない。

① 適正配置について

歯舞学園は、令和2年度に義務教育9カ年のカリキュラムを一貫して行う義務教育学校へ移行しました。

歯舞学園は、今後5年間の学級数の増減が見込まれないこと等を踏まえ、現状のまま存続することとします。

【校区】友知・双沖・歯舞・豊里・瑛瑠瑠・納沙布・温根元

② CSについて

目指す子ども像「**未来をつかむ力**」

○積極的に学習や対話ができる子ども

○仲間と協働して学校をよくする子ども

○みずから運動や健康管理ができる子ども

歯舞校区コミュニティ・スクール（学校運営協議会：学校・PTA・家庭・地域）が中心となり、児童・生徒に対し、歯舞に生きる子どもとして、自分と地域の未来を見据え、「目的」をしっかりと持ち、自分の未来を実現できる力を育むための教育を展開しています。

歯舞漁業協同組合と連携した統合的な学習「はぼまい学」を継続・定着させた学習活動を展開します。

2 市民周知及び意見の反映について

- ・6つのCS（コミュニティ・スクール＝学校運営協議会）地区ごとに説明会を開催し、市民意見の把握及び計画への反映に努めます。
- ・根室市議会文教厚生常任委員会委員への説明会を開催し、議論の主な内容を明らかにするとともに計画への反映に努めます。
- ・パブリック・コメントを実施し、広く市民意見の把握及び計画への反映に努めます。